

市長への手紙

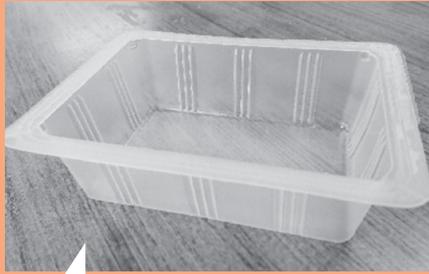
捨て出された燃やすごみの袋の中にたくさんプラスチックが入ったのを見ました。プラスチックごみは燃やすごみに入れてもいいのですか？また、プラスチックごみは収集した後どのように処分されているのですか？



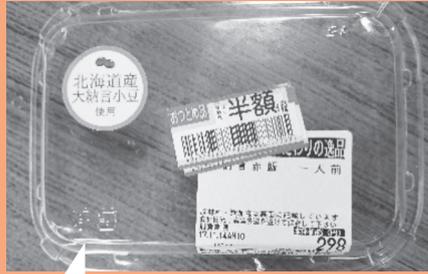
汚れているくないプラスチック製容器包装は、大切な資源となるため、資源ステーションの黄色のネットにお出しください。ご指摘の通り、燃やすごみの中には、プラスチック製容器包装などの資源物が混入するケースがまだまだ見受けられます。このことは、燃やすごみの増加やリサイクル量の減少の一因となるので、皆さんには引き続き分別のご協力をお願いします。

また、プラスチック製容器包装の回収後は、作業員が手選別で値札シールや汚れが目立つものは取り除き、それ以外のものはリサイクル業者へ引き渡しをしています。その後、再度プラスチック製品として利用されたり、さまざまな燃料としても利用されています。

分別のポイント



汚れの少ないプラスチックは洗って資源ごみへ！



プラスチック製品でもシールなどが貼ってであると資源化できません！



防災の観点でドローンを導入してはどうですか？



熊本地震でも見られたとおり、大規模災害が発生した場合には、道路や鉄道などの陸路の寸断が想定されますので、災害時の被害状況の調査について、ドローンを活用することは有効な手段だと感じています。

ドローンは精密機械のため、平常時から使用していないと故障や操作の不慣れから有事に使えないことも想定されます。そのため、導入する場合には平常時にも活用できる必要がありますので、ドローンの可能性について市として多岐にわたって考えていきたいと思っています。

その後の展開

4月7日付けで中部電力株式会社と、10月1日付けで共同メンテナンス株式会社とドローンに関する災害協定を締結しました。

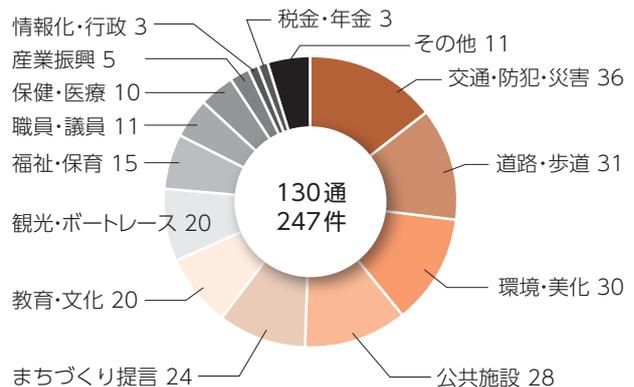


蒲郡駅北口の送迎レーンは朝晩・雨天時は待機者車両で大変混雑しています。なんとかならないですか？



蒲郡北駅前広場では、駅へお迎えに来る乗車待機車両については30分無料の駐車場へ

平成29年度 市長への手紙



誘導し、停車帯は駅へ送りに来る降車専用とすることで混雑解消を図っております。停車帯には、「降車専用」の表示も行っておりますが、残念ながら停車帯に乗車待機車両が停車することによって一時的に混雑が発生することがあります。そのため、現在一時的に看板を追加設置して更なる啓発に努めています。



待機車両はこちらへ停めてください。